熊本西環状道路（一般県道　砂原四方寄線）　砂原工区について

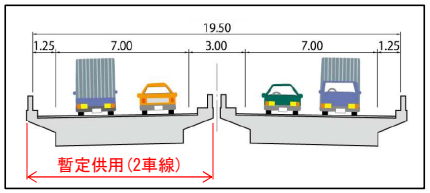
道路計画課

資料B-6

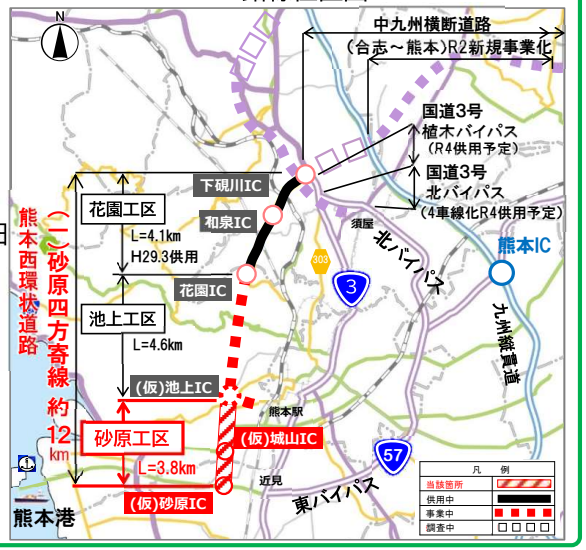
事業概要

・起終点：熊本市南区砂原町
～西区池上町
・延長等：3.8km（自動車専用道路）
（暫定2車線　設計速度80km/h）
・概算事業費：　約340億円
・計画交通量：21,100～22,900台/日
・B／C（便益／費用）：1.6

≪標準横断図≫



≪路線位置図≫



事業フロー

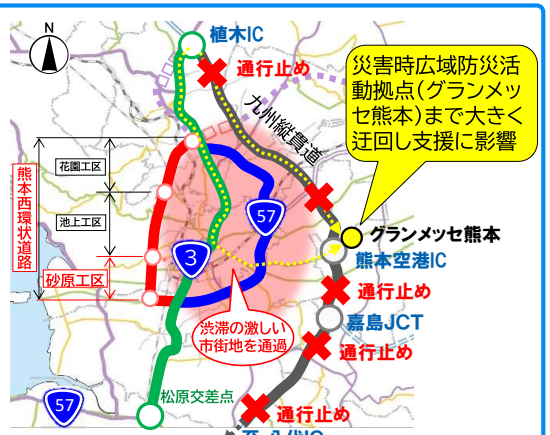
現在
熊本市公共事業評価（新規採択）
→ 国による新規事業採択箇所の決定
→ R4年度以降 → 新規事業化 → 地質調査・測量・設計 → 用地立会用地補償 → 道路・橋梁工事

整備の必要性①

《課題》災害時における道路ネットワークの脆弱性

熊本地震時、九州縦貫道が通行止めとなり交通が混雑。県外からの支援物資供給活動の妨げとなった。

【写真】自衛隊災害派遣移動中での渋滞状況（国道3号山室交差点付近）



整備効果①

《効果》災害時 多重性（リダンダンシー）の確保

・道路ネットワークが**迂回路としての機能**を発揮し，緊急物資の輸送等に重要な役割を果たす。

■熊本地震前後の旅行速度の変化（国道3号松原交差点～植木IC）

出典：H28年度　国土交通省九州地方整備局　九州国土交通研究会
迂回時：ETC2.0プローブデータ　H27年4月18日～4月21日の旅行速度

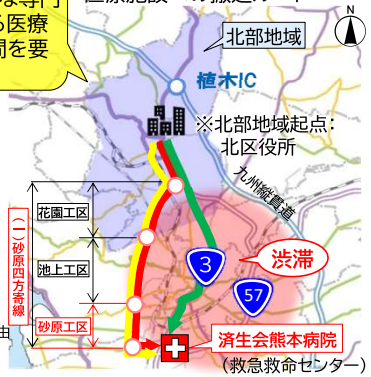
整備の必要性②

《課題》救急医療施設への信頼性の高い搬送ルートの確保

北部地域から、高度な専門的医療設備を有する医療施設へは渋滞で時間を要している。

【写真】国道3号の渋滞（代継橋付近）

■熊本市北部地域から第3次医療施設への搬送ルート



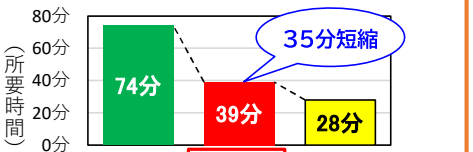
凡例
①国道3号経由
②整備後：西環状経由
③将来（参考）：植木バイパス⇒西環状

整備効果②

《効果》3次救急医療施設への迅速で正確な搬送

・市街地の渋滞箇所を回避でき、平時・災害時を問わず第3次医療施設への**迅速で正確な搬送が可能**となる。

■熊本市北区役所から第3次医療施設への所要時間



※ETC2.0プローブデータ（R2.9～11）
混雑時旅行速度（砂原四方寄線・植木バイパスは設計速度）

整備の必要性③

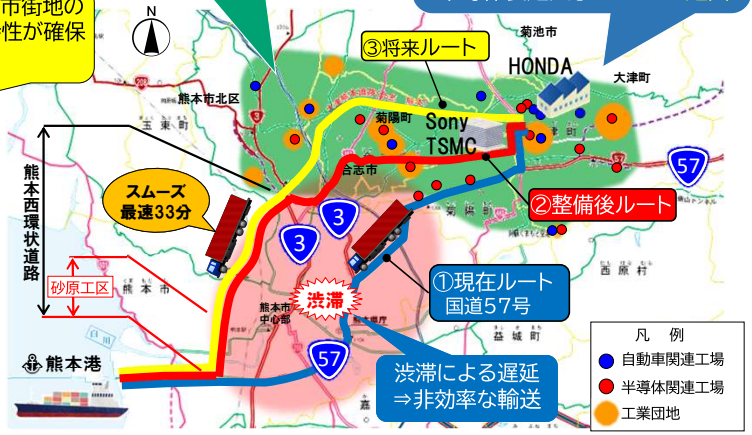
《課題》交通混雑による物流の阻害

★半導体・自動車関連工場等多くの企業が集中。（県内1位）

★本田技研工業（株）
国内唯一の二輪車製造拠点
★ソニーセミコンダクタに加え
半導体製造大手TSMCの進出

熊本港の利用が増加するなか、市街地の交通混雑のため、速達性や定時性が確保できず非効率な状況。

【写真】熊本港



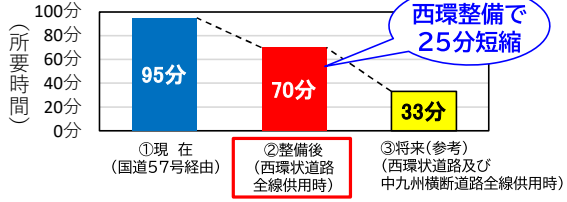
物流運搬路凡例
①現在：国道57号ルート
②整備後：現道⇒西環状ルート
③将来（参考）：中九州⇒西環状ルート

整備効果③

《効果》物流の安定輸送による地域産業の支援

・砂原工区の整備により、慢性的な渋滞発生交差点を回避でき、速達性や定時性が確保され、物流の安定輸送が可能となる。

■道路整備により期待される将来の所要時間
大津町（本田技研工業付近）→熊本港まで（片道）



資料：ETC2.0プローブデータ（R2.9～11）混雑時旅行速度より算出
（砂原四方寄線・中九州横断道路は設計速度）